

色

Shiki



東京藝術大学 COI拠点

舞

Bu

奏

Sou

Arts & Science LAB.
竣工記念フェスティバル



坂東玉三郎

[舞]

ベルリン・フィル シャルーン・アンサンブル

Berlin Philharmonic Scharoun Ensemble

Christophe Horak(Violin) | Rachel Schmidt(Violin) | Micha Afkham(Viola) | Mikayel Hakhnazaryan(Violoncello)
Peter Riegelbauer(Double Bass) | Alexander Bader(Clarinet) | Markus Weidmann(Bassoon) | Stefan de Leval Jezierski(Horn)

5月30日[土]・31日[日] 東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

5月30日[土]15時開演(14時30分開場) 対象:東京藝術大学学生および関係者
5月31日[日]15時開演(14時30分開場) 対象:教育研究機関、企業関係者および一般の皆様

シューベルト:《八重奏曲》へ長調 Op.166, D.803
Franz Schubert: Octet in F Major Op.166, D.803

松下功:《海へ、そして夢に》 舞:坂東玉三郎
Isao Matsushita: To the Sea, and Towards the Dream

他

藤本隆文[Vibraphone/本学准教授] 早川りさこ[Harp/本学非常勤講師]

芸術監督:宮廻正明

[本学大学院教授・社会連携センター長]



●入場無料・全席指定

(往復ハガキでお申し込みください)

※チラシ裏面を参照の上、
4月27日(月)までにお申し込み願います。
限られた席数でございますので、
申し込み多数の場合は、厳正なる抽選の上、
当選ハガキの発送をもってご連絡させていただきます。

[お問い合わせ]

●東京藝術大学COI研究推進機構
TEL:050-5525-2486
Mail:innovation@ml.geidai.ac.jp
Web:http://innovation.geidai.ac.jp

※スケジュール・曲目・出演者等は
都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。
※就学前のお子様の
同伴・入場はできませんので、ご了承ください。



「感動」を創造する芸術と

科学技術による

共感覚イノベーション

主催:東京藝術大学COI拠点
協力:東京藝術大学音楽学部、演奏芸術センター
社会連携センター、アートイノベーションセンター

芸 術は、いつの時代にも人々の暮らしに「感動」を与えてきました。科学技術が高度に発展した現代には、現代人の感性を揺さぶる「感動」があるはず。本公演は、東京藝術大学COI拠点（「感動」を創造する芸術と科学技術による共感覚イノベーション）による研究成果の一環として実施いたします。東京藝術大学が培ってきた美術・音楽・映像に身体表現を加えた芸術表現と最先端科学技術の融合による「彩り、舞う、奏でる」をテーマとした研究成果「色舞奏」の発表です。



坂東玉三郎

1956年十四世守田勘弥の部屋子となる。翌年坂東喜の字を名乗り、「寺子屋」の小太郎で初舞台。以後、「椿説弓張月」の白縫姫、「桜姫東文章」の桜姫など大役を次々に演じ注目を集める。1982年から3度のアメリカ公演をはじめ、パリ、ブラッセル、東ベルリン、ドレスデン、ウィーン、ロンドン、台北などで好評を博してきた。舞踊家としての活動にも力を入れ、全国各地の劇場の他に地方の古い劇場でも公演を行い、玉三郎の活動のなかでも重要な柱となっている。1988年にはヨーヨー・マらの演奏によるラヴェルの「ピアノ三重奏曲」で創作舞踊を上演。その後、マとはバッハの「無伴奏チェロ組曲」を映像収録した「希望への苦闘」でも共同作業を行い、同作品はリヨンで行われた「ダンススクリーン96」でグランプリを受賞した。歌舞伎への出演に並行して演出も手がけ、「なよたけ」、「黒蜥蜴」、「海神別荘」などの作品で実力派の演出家としての評価を得ている。1991年には、「外科室」を初監督。続いて「夢の女」がベルリン映画祭の正式出品作品となった。1995年には、監督・主演作品の「天守物語」が話題となり、2003年には和太鼓集団、鼓童の演出を2年間に渡り取り組み「鼓童ワン・アース・ツアー・スペシャル」として好評を博した。



シャルーン・アンサンブル

1983年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の団員によって設立されたシャルーン・アンサンブルは、ドイツの主要な室内楽組織のひとつである。バロック時代、古典主義、ロマン主義の室内楽から現代の作曲家達に及ぶ幅広い演奏曲目とともに、四半世紀以上の長きにわたりヨーロッパや海外の人々に感動をもたらしている。革新的なプログラム編成、洗練された音色文化と活気溢れる演奏が特徴で、様々な楽器を組み合わせで演奏する。シャルーン・アンサンブルの半永久的な核心は、ベルリン・フィルの団員によって構成された伝統的なオクテット（クラリネット、バソーン、ホルン、第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）である。

松下功

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院を修了後、ベルリン芸術大学に学ぶ。1998年長野オリンピック文化プログラム・オペラ《善光寺物語》および開閉会式の入場行進曲を作曲。2000年和太鼓協奏曲第1番《飛天遊》がケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル（和太鼓：林英哲）によるサマー・コンサートで演奏され好評を博す。2010年平城遷都1300年を記念してオペラ《遣唐使～阿倍仲麻呂》が奈良・薬師寺で初

演。現在、東京藝術大学副学長および演奏芸術センター教授。一般社団法人日本作曲家協議会会長。アンサンブル東風代表。

宮廻正明

島根県生まれ。平山郁夫に師事。1991年第46回春の院展で外務大臣賞受賞。1999年再興第84回院展で文部大臣賞を受賞。2002年再興第87回院展で内閣総理大臣賞を受賞。2010年にはロシア国立美術館「日本の美展」の個展を皮切りに、2013年にブダペスト歴史博物館（ハンガリー）、リスボン東洋美術館（ポルトガル）、2014年にピッティ宮殿近代美術館（イタリア）で個展を開催。現在、東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻教授および社会連携センター長、日本美術院評議員・同人。

東京藝術大学奏楽堂

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



- JR上野駅（公園口）・鶯谷駅（南口）、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」 ②上野駅・上野公園から（東京芸術大学経由）⇒⑤-1東京芸術大学下車[30分間隔]
- ※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- ※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください

お申し込み方法

下記の要領で往復ハガキにてお申し込みください。なお、申し込みが規定の人数を超える場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
また、コンサート当日に当選ハガキを座席指定券に替えさせていただきます。

●お申し込み締切日（必着）：2015年4月27日（月）

●返信ハガキ発送予定日：2015年5月1日（金）

申し込みハガキ記入例

※希望日は、東京藝術大学の学生および関係者は5/30（土）、教育研究機関、企業関係者および一般の皆様は5/31（日）と記載願います。

52	110-8714
東京都台東区上野公園12-8	
東京藝術大学 COI研究推進機構	
「色舞奏」係	
往信側	
※返信側には 何も記入しないでください	
返信側	

52	□□□□□□□□
送り先をご記入ください	
返信側	
①希望日 A: 5/30（土）、B: 5/31（日）	
②希望枚数 ※2名様までお願いいたします	
③郵便番号とご住所	
④お名前（ふりがな記入） ※本学学生は所属を記入	
⑤電話番号（ご連絡の取れる番号）	
往信側	